

## 2020 年度

## 授業概要

科目名		補聴器・人工内耳		授業の種類	演習	講師名	
授業回数	15回	時間数	30時間 (1単位)	配当学年・時期	言語聴覚士科3年	後期	必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
聴覚障害者（児）に対し、最良と考えられる補聴器の適合、評価、装用指導する為の聴能学、補聴学に基づく理論、技術を習得する。							
〔授業全体の内容の概要〕							
補聴器の適合理論と方法、評価法、装用指導について。 補聴器の構造と適合に関する技術について。							
〔講師の実務経験〕							
臨床経験15年。教育経験19年。							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
聴覚障害児、者の補助手段の中で、主として用いられる補聴器の適合と訓練方法を修得する。							
回数	講義内容						
1	聴覚障害者の実態、難聴について、補聴器の体験						
2	難聴の程度と補聴器、補聴効果、補聴器の適応						
3	補聴器の効果と限界、フィッティングの流れ						
4	フィッティングの流れ						
5	補聴器の種類・構造・特徴						
6	補聴器の種類・構造・特徴						
7	補聴器の特性測定						
8	フィッティング						
9	〃						
10	〃						
11	〃						
12	デジタル補聴器とアナログ補聴器						
13	〃						
14	補聴器装用訓練						
15	まとめ						
【 準備学習・時間外学習 】							
【 使用テキスト 】							
書籍名		著者名		出版社			
【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】							
筆記試験にて評価する。							